

第八回

熊本城（熊本県熊本市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

熊本市賞一句

阿蘇山を攻め遠近の稲光

長野県小諸市

田中

民明

特選三句

紅葉踏み天守へ続く道険し

熊本県熊本市

角田

光明

水俣に浮く太刀魚の夜明けかな

熊本県熊本市

中村

文三

紅葉して平家の里の人出かな

熊本県熊本市

山本

洋子

投句総数

三四句

開函日

平成二十四年十月三十一日

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

奈良・斑鳩町賞一句

里祭はち切れさうな稻荷寿司

奈良県北葛城郡

荻野

鷹生

特選三句

社家町の土塀の続く柿の秋

大阪府堺市

小野田

護

音たてゐる斑鳩の芋嵐

大阪府豊中市

小畑

晴子

秋惜しむ臨書半ばの筆を擱き

奈良県生駒郡

田子

美地子

投句総数

二四八句

開函日

平成二十四年十月三十一日

博物館明治村（愛知県犬山市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

子規はいく賞三句

父と呑む酒の肴の落花生

愛知県豊川市

夏目

実咲

鉄橋の錆の匂へり白木槿

愛知県春日井市

野田

公雄

紅葉の村営バスの停留所

東京都品川区

福本

美恵子

特選三句

鐘の音のどこまで響く秋の空

岐阜県岐阜市 石原 佳奈

赤とんぼ指にとまれと追いかける

愛知県名古屋市長 ウエストビィ 三紗

雑居房の窓ごしに見る紅葉かな

愛知県岡崎市 瀬戸 藤代

投句総数 一〇三句

開函日 平成二十四年十月三十一日

子規庵（東京都台東区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

露けしや手紙好きなる子規の筆

千葉県我孫子市

玉田

のり子

自画像の御目にみとれ子規忌かな

東京都文京区

花輪

芳子

秋惜しむ子規拝領の仕込杖

千葉県我孫子市

原

瞳子

投句総数

九四句

開函日

平成二十四年十月三十一日

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

鈍色の砲身海へ夏旺ん

福岡県福津市

今村

尚敏

秋の雨三笠にも降り海に降り

東京都八王子市

田村

知章

軍港にぶかぶか秋のくらげかな

千葉県松戸市

西野

桂子

投句総数

五九句

開函日 平成二十四年十月三十一日

大和ミュージアム（広島県呉市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

夕ぐれの色にそまるよいわし雲

三重県松阪市

岩下

紗都

紅白の夾竹桃や母の家

東京都八王子市

坂西

圭子

夏の日が大和の沈む海に落つ

広島県東広島市

板倉

大貴

投句総数

八九句

開函日 平成二十四年十月三十一日

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

秋雨の漱石山房訪ねけり

静岡県静岡市

五十嵐

光郎

はっぱから秋の白いを感じるよ

神奈川県横浜市

今井

優

白樺の輝やく夏の上高地

東京都新宿区

大畑

雅敬

投句総数

五四句

開函日 平成二十四年十月三十一日



鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「愛媛若葉」

主宰

高岡

周子

選

特選三句

会津塗見ながら歩く秋日和

愛知県岡崎市

植田

英子

赤べこの首振り止まぬ秋うらら

愛知県豊田市

宇野

順二

爽やかな風吹き渡る五色沼

東京都町田市

笠原

祥郎

投句総数

一六九句

開函日

平成二十四年十月三十一日